# くらしの情報

お知らせ

## ○基礎控除などが改正に

来年度から個人市県民税を次のとおり改正します。❶給与所得控除と公的年金控除の控除額を10万円引き下げ❷どの所得にも適用される基礎控除額を10万円引き上げ（扶養控除の判定に使われる所得控除の合計所得金額の要件も10万円引き上げ）

この他の改正点など、詳しくは本市ホームページをご覧ください。

問市民税課
☎027・898・6203

## ○市県民税の納税通知書を発送

個人市県民税（普通徴収）の納税通知書を6月11日㈭に発送します。生活保護や自然災害などで被害を受けた場合など、特別の事由で納税が困難と認められるときは、申請によって減免される場合も。納期限までに市民税課へ申請してください。

問同課
☎027・898・6203

## ○緊急時に備えて一斉訓練

全国瞬時警報システム（J・アラート）を利用した全国一斉の情報伝達訓練を実施。本市でも防災行政無線と防災ラジオから緊急地震速報の試験放送が流れます。実際の災害と間違えないように注意してください。

**日時**＝6月17日㈬10時
問防災危機管理課
☎027・898・5935

## ○耐震改修で地震に強い家に

木造住宅の耐震改修費の補助申請を受け付けています。希望者は補助要件について事前に協議が必要です。詳しくは問い合わせるか、本市ホームページをご覧ください。

**対象**＝木造住宅耐震診断者派遣事業の耐震診断で、上部構造評点が1・0未満の住宅を所有する本市在住の人、先着5戸
**補助金額**＝耐震改修費用の5分の4（上限100万円）
申12月11日㈮までに市役所建築指導課（☎027・898・6752）へ直接

## ○障害者や家族の相談受けます

障害者相談員は、障害者や家族からの相談を受け、関係機関との連絡調整を行います。相談は、障害の種別に応じて、右表のとおり近くの相談員に電話かファクスで。相談員が不在の場合もあります。

**相談時間**＝9時～17時（土日曜・祝日を除く）
問障害福祉課
☎027・220・5714

**障害者相談員（敬称略）**

| 種別 | 相談員氏名 | 町名 | 電話（ファクス）番号 |
|---|---|---|---|
| 身体 | 大島　主好 | 粕川町新屋 | 027-285-4632 |
| | 永井　勝二 | 堀越町 | 027-283-3546 |
| | 長岡　俊充 | 粕川町深津 | 027-285-3051 |
| | 根岸　宏行 | 駒形町 | 027-266-2068 |
| | 藤井　稔栄 | 下大島町 | 027-266-7220 |
| | 細野　英雄 | 朝倉町 | 027-261-2574 |
| | 宮田　英夫 | 大前田町 | 027-283-6735 |
| | 佐々木　洋之 | 朝日町 | 027-220-1162 |
| 視覚 | 齋藤　高次 | 城東町 | 027-233-4692 |
| | 髙橋　賢司 | 朝倉町 | 027-263-8855 |
| 聴覚 | 高橋　亮 | 駒形町 | 027-266-6834（ファクス） |
| | 山田　浩臣 | 西大室町 | 027-268-1803（ファクス） |
| 知的 | 石坂　英子 | 広瀬町 | 027-263-8534 |
| | 関口　純子 | 上佐鳥町 | 027-265-6271 |
| | 髙山　由貴 | 昭和町 | 027-232-9251 |
| | 浅岡　武夫 | 天川大島町 | 027-243-5901 |
| 難病 | 飯塚　敦子 | 鳥取町 | 027-269-2314 |
| | 金井　徳司 | 堀越町 | 090-2930-2050 |
| | 石田　ヨシ子 | 上佐鳥町 | 027-265-0304 |
| | 町田　毅 | 千代田町 | 090-1111-7080 |
| | 小野　順子 | 古市町 | 090-2562-3555 |

## ○おうち時間で手話体験

本市公式YouTubeでは自宅で学べる簡単な手話動画を公開中。あいさつや医療関係の手話が学べます。

問障害福祉課
☎027・220・5711

窓口業務時間
本庁・支所・市民サービスセンター　8時30分～17時15分
KiBIX元気21まえばし証明サービスコーナー　10時～19時

申申し込み　問問い合わせ



## ○児童手当の更新忘れずに

児童手当の現況届は、手当を受けるために必要な更新手続きです。毎年6月1日現在で受給資格要件を満たしているかなどを確認。6月上旬に全受給者に送付します。今年は返信用封筒を使って提出を。届け出ないと手当が受けられなくなります。

**支給月**＝6月・10月・翌年2月
**児童1人当たりの支給月額**＝〈3歳未満〉1万5，000円〈3歳～小6〉1万円（第3子以降は1万5，000円）〈中学生〉1万円〈所得制限限度額以上の世帯〉5，000円

問子育て支援課
☎027・220・5701

## ○蚊の対策を始めましょう

蚊には、デング熱やジカウイルス感染症などのさまざまな感染症を媒介する危険性があります。感染症のまん延を未然に防止するには、地域全体で蚊の発生抑制に取り組むことが大切です。蚊の産卵場所となるたまり水をなくし、雑草や樹木は刈り取って、蚊が潜む場所をなくしましょう。また、肌を露出しない服を着たり虫よけ剤を使ったりして、蚊に刺されないようにしましょう。

問蚊の駆除方法などは衛生検査課☎027・220・5777
デング熱などの相談は保健予防課
☎027・220・5779

## ○ジェネリック医薬品の利用増

ジェネリック医薬品とは、新薬の特許が切れた後に発売される、新薬と同等の効果・効能を持つ医薬品のこと。大きさや味、香りなどを改良した物もあります。新薬と比べ安価なため、自己負担の軽減や医療費の抑制につながります。価格は新薬の5割程度で、より安価な物もあります。国民健康保険加入者は、切り替え可能な医薬品の内、80％をジェネリック医薬品に切り替えています。また、保険証に貼れるジェネリック医薬品希望シールを市役所国民健康保険課や各支所・市民サービスセンターなどで配布中。全ての医薬品にジェネリック医薬品があるわけではありません。医師や薬剤師に相談しましょう。

問国民健康保険課
☎027・898・6249

## ○ひきこもり相談窓口活用して

本市にはひきこもりに関する相談窓口があります。ひきこもりは誰にでも起こり得るもの。悩みや苦しみを抱え込む前に、気軽に相談してください。

問保健予防課
☎027・220・5787

## ○男女共同を考える機会に

6月23日㈫から29日㈪までは男女共同参画週間。性別にこだわらず、それぞれが能力を発揮できる社会づくりには一人一人の取り組みが必要です。

問男女共同参画センター
☎027・898・6517

**ごみからの感染を予防**
**家庭ごみの捨て方を確認しましょう**

新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、次のとおり家庭ごみを出してください。また、ごみの減量を心がけましょう。詳しくは本市ホームページをご覧ください。

❶ごみ袋内の空気を抜いてしっかり縛る
❷マスクやティッシュなどは袋に入れてからごみ袋へ
❸資源ごみは1週間ほど保管してから出す
❹ごみを出した後は手を洗う

問ごみ減量課
☎027-898-6272